
僕は臆病者～君は僕の心臓の一部～

ばにゅら

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

僕は臆病者／君は僕の心臓の一部

【Zコード】

Z6459Z

【作者名】

ばにゅら

【あらすじ】

昔から心臓病の少女春香は余命あと半年だと告げられる。

春香は裏表があり表は明るくていい子だが裏では臆病でいつもネガティブに考えてしまう。

そんな女の子のノートの1p。

一
魁輝帰ろ！」

あと向かいの葉を言えるのかな。

「おはよう」と待つで

あと何回Jの声を聞く言葉を聞く」とかでほんのかな

「お先に下駄箱行つてゐる」

一緒にいくで言ひたしやんか

「そ二、たね・・・」

春香最近元気なしなど「かしだ?」

？
？」たゞもしてないにては——何の心配はないぢや——が

心配になつちつた——WW

魁輝、あんたの勘当たつてるよ。

だけれどみんなに言えない秘密があたしにはある。

生まれつき心臓が悪くて、走って風を感じる」とやみんなが楽し

みな運動会にも参加できなかつた。

でも、バレないために毎回転校を繰り返していた。

そんなあたしは7月にこの学校に転校してきた。

優しい友達、優しい彼氏に恵まれて『嗚呼、またあたしの新しい日々が始まる。』と思つた途端、

家で発作を起こして病院送りになつた。

病室で目を覚ましたあたしの耳に飛び込んできたのはカーテンの向こうの会話。

たつて話をしているのか影がうつすら見えていた。

そこにいたのはお母さん、お父さん、医師。

お母さんは鼻をすすつて、ハアハア息が荒くなつていた。

お父さんはお母さんに「これは春香に秘密にしておひや。」って言つてた。

母「本当なんですか、春香が半年も生きられないな・・・・ん・
・て。」

医師「はい、長くても1年でしょう、ですがそれ以上生きるのは大
変難しいです。」

嘘・・・あたしは生きられないんだ・・・余命があと半年・・・。

今12月だから・・・来年の6月まで・・・。

瞬きした瞬間涙が頬を伝つた。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n6459z/>

僕は臆病者～君は僕の心臓の一部～

2011年12月21日20時52分発行